

クレメンティ校「川柳」

クレメンティ校6年生が国語の学習で川柳を考えました。シンガポールでの生活から感じたことや思いを表現しています。

雨ふれば	虹のしずくだ	獅子の町	野村	実紗
時に雨	時に猛暑の	異常気象	土屋	遼平
風ふけば	ヤシの木ゆれる	海辺かな	伊藤	陽太
値段を見	財布を開き	涙する	津	朋花
師走でも	かざった木の下	半そで	安達	咲良
光る都市	緑と共に	芽を生やす	内田	優和
夜の庭	光の森で	夢描く	桑原	りみ
赤と白	月が一つと	星五つ	春原	祥吉
鶏飯を	チキンの前で	ほおぼるぞ	内藤	権志
桜の木	いくら望めど	見れはしない	伊差川	心南
一年中	南国フルーツ	バイキング	多田	汐里
塔の上	空を進む	大型船	竹中	陽人
風の日に	緑の竜が	暴れてる	上原	旭
横通り	極臭激	鼻刃物	川村	旭輝
いつのかな	写真が	どれも夏服だ	田中	優衣
空腹で	返却口に	ジャワハッカ	友久保	響子

チャンギつ子「俳句・川柳」

チャンギ校の5年生が国語の学習で俳句・川柳を考えました。

《春の俳句》	春知らず	色とりどりの	サクラ咲ケ	椿	穂佳
	さようなら	僕らの先輩	旅立つ日	岡田	翔真
	春の風	卒業式に	桜散る	宮内	恵麻
《夏の俳句》	目が光る	やたいいっぱい	夏祭り	西田	一翔
	夏の夜	ひとりぼっちの	夏まつり	原田	雅司
	背を伸ばし	花を咲かして	太陽へ	梅崎	怜花
《秋の俳句》	その角を	よくからませて	ああ鹿よ	ポチャスク	リアム
	茶色の	じゅうたん集め	火をとます	岡田	ゆの
	秋になり	道がなくなる	誰のせい	石井	晴乃
	金色の	波打つ稲穂	天高し	杉村	瑞穂
《冬の俳句》	ネギとうふ	食材たちの	温泉だ	山崎	志保里
	冬きたり	白いドレスが	山おおう	井上	律
	温かい	のどやかな時間	こたつねこ	小南	華
	うるわしい	きれいに輝く	冬の武器	下市	明璃
《シンガポール川柳》	皿の上	光る満月	月食だ	村田	知洋
	観光地	太った鳩が	歩いてた	鈴木	佳純